

鳥取県の社会福祉制度・予算等の要望に対する県対応方針

鳥取県福祉研究学会

1 鳥取県福祉研究学会支援事業補助金の増額・拡充

要望内容
<p>鳥取県福祉研究学会支援事業補助金について増額・拡充をお願いします。</p> <p>(説明) 鳥取県福祉研究学会は、平成19年に福祉現場における実践活動の成果や課題を福祉研究発表としてとりまとめ、そのノウハウを次の世代へ継承していくことで、鳥取県の福祉サービスのレベル向上を図るとともに、安心・安全な福祉社会の実現を図るために設立されました。</p> <p>平成19年度から令和6年度までに発表された研究題数は503題(高齢者福祉分野287題、障がい児者福祉分野83題、児童福祉分野83題、地域福祉分野75題、その他の社会福祉領域29題、ポスター発表15題)に上り、研究発表会は延べ5,407人の参加者を得て、各福祉分野における好事例の実践にふれ、そのノウハウが蓄積されることで福祉サービスの向上発展と職員の自己研鑽、福祉現場における研究・学びの風土づくりに大きく貢献してきました。</p> <p>令和8年度は「鳥取県福祉研究学会」が設立されて20年の節目を迎えます。これからの福祉のあり方を研究し、研鑽し、お互いの資質向上を図るとともに、その持てるノウハウ等を共有し、更に発展させ、もって鳥取県域の福祉社会の発展向上を図る記念事業(20周年記念誌発行、総会特別企画、研究発表会記念企画)を実施するための予算の確保をお願いします。</p>
現状と県の取組状況・対応方針〔担当課：福祉保健課〕
<p>鳥取県福祉研究学会では、長年に渡り様々な福祉現場での課題等に真摯に向き合い、その研究成果が関係機関へ共有されるなど、県内の福祉の発展向上に大きく貢献してきたと認識しています。</p> <p>鳥取県福祉研究学会支援事業補助金については、今年度から補助限度額を200千円増額するとともに、補助対象事業についても、総会開催経費を追加するなど、継続的な福祉研究のため支援拡充を行ったところです。</p> <p>令和8年度の学会設立20周年の記念事業により、本県の福祉社会の更なる発展向上が図られるよう、補助額の増額を検討します。</p>